平成２９年度　「学校関係者評価」　評価票

評価日　平成３０年２月１日

Ａ．大変よい　　Ｂ．よい　　Ｃ．改善が必要　　Ｄ．大きな課題がある

「評 価 項 目」及び「内 部 評 価」		「学校関係者評価」及びコメント
1　学校経営　【 Ｂ 】		A　(B)　C　D
・様々な手段を活用した広報活動の充実	A	・校長が掲げる「元気な学校づくり」というビジョンの実現に向け、その種は蒔かれているようだ。 ・保護者としてはホームページがしっかり　していて、学校の様子を知ることができる点で評価できる。 ・保護者アンケート回収率低下の原因分析と対策を検討してほしい。 ・内部評価がＢなので委員会としてもＢとするが、更なる飛躍を期待しての評価である。
・健康で安全に学べる教育環境の整備	B	
・安全・安心な学校づくりの推進	B	
2　学習指導　【 Ｂ 】		A　(B)　C　D
・自ら伸びようとする向上心を育む授業づくりの推進	B	・予習を前提とした授業づくりが大切である。 ・家庭学習習慣をつけさせるには、先生方による意識的な働きかけが必要である。先生方のもう少しの働きかけで、より良い方向に持って行けるはずである。 ・「授業実施状況報告書」の年２回作成と提出は、日常的な研鑽につながるので、継続してほしい。 ・授業の中で生徒の頭が活性化する、関心と意欲が高まる授業をさらに工夫してほしい。
・家庭学習習慣の獲得と定着	B	
・授業改善に向けて研鑽し合う職場風土の醸成	A	
3　生徒指導　【 Ａ 】		(A)　B　C　D
・活力と節度があり、誇りを持てる学校文化の創造	A	・制服の着こなしが整ってきたことなど、地域の評価がさらに上がってきている。 ・挨拶指導は地域にとってもありがたいし、その努力が見えていることが評価できる。大人の挨拶ができる人づくりに向けた一層の指導を期待する。 ・自転車運転の安全意識及びマナーの向上については、継続的に取り組むべき課題であろう。
・規律・責任感・社会性など共同体意識の醸成	A	
・職員・生徒、みんなで取り組む挨拶・服装・頭髪指導	A	
4　キャリア教育・進路指導　【 Ａ 】		(A)　B　C　D
・夢の実現に向かって主体的に学ぶ生徒の育成	A	・大学入学のみならず、その先の将来を見据えた指導が重要である。 ・保護者の視点からは、子どもの中では長いスパンで将来を考える姿勢が育っていると思う。 ・意欲を駆り立てるだけでなく、生徒たちが受講しやすく、より充実した進学補習体制を築くといった努力目標を示してほしい。
・夢を描き、夢を語り合える“場”の創造	B	
・具体的な業種・職種イメージを持たせる学習機会の強化	A	

（総合所見）

校長の学校経営目標のもと、先生方が学校運営全般にわたって、継続的な工夫と改善を行っていることがわかり評価できる。進路指導については、進学のことだけでなく、遠い目標を見定めるべきだということを生徒たちにも示すことで、更なる指導の飛躍を望んでいる。

近年、生徒指導については大変力をいれていることが地域から見ていてもわかり、評価されている。地域としては、津田沼高校が街づくりに貢献してくれていることをありがたく思っている。